



ご挨拶

本日は“*A-Winds72*”2026年春の演奏会にお越し下さり誠に有難うございます。

「こころ豊かな文化の香り高き町 大和郡山市」お城の麓“DMG MORI やまと郡山城ホール”で皆様方と、お逢いすることができましたことに*A-Winds*一同心より感謝申し上げます。

四季折々に開催する、*A-Winds*の定期演奏会も72回目を迎えることができました。これもひとえに我々*A-Winds*の音楽活動をこよなく愛して下さっている、皆様方のご指導ご支援の賜物と、心より感謝いたします。

私たちは年に三回の演奏会を開催しておりますが、春はやはりどこか特別です。新しい季節の始まりとともに、私たちの音楽もまた新しい一歩を踏み出します。

そして本日は、もうひとつの「新しい始まり」があります。

今回、団内指揮者が2名デビューいたします。

これまで団員として共に音を重ねてきた仲間が、今日はタクトを手に立ちます。きっと今ごろ、皆さま以上に緊張していることと思いますが……どうぞあたたかいお気持ちで見守っていただけましたら幸いです。

団長としては、拍手は少し大きめでお願いできれば大変ありがたく存じます。

本日のプログラムは、日本の作曲家による作品を中心にお届けいたします。日本ならではの美しい風景や、繊細さの中にある力強さを感じていただける楽曲ばかりです。私たちもその魅力を楽しみながら、心を込めて準備してまいりました。

今日の音楽が、皆さまにとって春のやわらかな風のような存在となりましたら、これほど嬉しいことはありません。どうぞ最後まで、ゆったりとお楽しみください。

春の音 ほのかに緊張 花えがお

*A-Winds*奈良アマチュアウインドオーケストラ 団長 佐藤 由加里

*

本日は、“*A-Winds72*”2026年春の演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。

19世紀後半、日本は200年以上にわたる鎖国を解き、世界の国々と向き合うことになりました。開国とともに、浮世絵をはじめとする日本の美術工芸品が西洋へ大量に渡り、好奇と憧れのまなざしをもって受け入れられていきました。日本の美しい風景と生き生きと暮らす人々の姿は、西洋美術の世界に「ジャポニスム」という新たな潮流を生み出しました。

本日は「ジャポニスム」をテーマに、吹奏楽の名曲をそらえたプログラムになっております。第一部では、実在する土地をモチーフにした『天国の島』、『SEA OF WISDOM ~知恵を持つ海~』を演奏します。第二部では、『さくらのうた』、そして本演奏会のテーマを冠した『三つのジャポニスム』を演奏します。また、第一部と第二部の間には、さまざまな編成によるアンサンブルステージもご紹介します。

春のよき日に、ご来場の皆さまにお会いできた喜びを噛み締め、美しい日本の風景を音に乗せてお届けします。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。

“*A-Winds72*”2026年春の演奏会 実行委員長 森口 悠斗



A-Winds 奈良アマチュアウインドオーケストラ

Piccolo 佐藤 由加里	Alto Saxophone 島田 博一 小山 飛鳥 三宅 利幸	Euphonium 尾登 勇介 原田 桃花 藤山 みらい 狭間 未玖乃
Flute 佐藤 司(印刷) 魚谷 陽子(渉外) 大塚 由起 南 結香(宣伝・チラシ) 谷田 和奏	Tenor Saxophone 山藤 あずみ	Tuba 吉村 優花 堤 正治郎 松下 幸平(宣伝・チラシ) 松尾 大輔
Oboe 桶谷 牧子 白井 秀	Baritone Saxophone 初岡 和樹 伊藤 耕平♪	Percussion 谷口 麻子 木津 尚子 川人 舞 田口 幹朗♪ 新保 潤♪ 武内 亮♪ 中元 彩香♪
Bassoon 桶谷 美咲(プログラムノート) 上田 良子	Horn 久野 耕三 大田 雅美 坂元 葉 坂本 美萌里	Piano 八木 真木
♭ Clarinet 大谷 実	Trumpet 魚谷 昌克 谷田 弥生 山本 洋介 大西 伸幸♪ 井上 寛治 乙川 佳世 谷田 雪月(アンサンブル)	Stage Manager 河村 穰香♪
♭♭ Clarinet 竹村 明恵 吉本 樹 中山 詩織♪ 中山 由香 西崎 潤人(宣伝・マスコミ) 八木 彩乃 山下 美結(宣伝・ミニレター) 佐藤 佑奈 島 卓真 松本 ゆかり	Trombone 小泉 文浩 田中 由美 赤羽 孝文(チラシデザイン) 寺阪 清貴 松本 麗 田中 智寛	Announcer 境 貴子♪
Alto Clarinet 大西 晴己		
Bass Clarinet 森口 悠斗(実行委員長)		

♪ = エキストラ ♪ = 休団 () = 演奏会実行委員
団員合計 59名

A-Winds 団員募集パート

●募集パート

Bass Clarinet _____ 1名	Percussion _____ 4名
Horn _____ 2名	Stage Manager _____ 1名
Contra Bass _____ 2名	

- *A-Winds*の活動趣旨(ウインドアンサンブル&オリジナル重視)に賛同頂ける方
- ご自分で楽器を準備できる方 ● 全ての活動に賛同頂ける方
- 18歳以上の方 ● 詳細はお問い合わせ下さい。

問い合わせ先は<e-mail>a.winds.nara.contact@gmail.com



2026年3月20日(金・祝) 14:00開演 (13:30開場)

DMG MORI やまと郡山城ホール 大ホール

主催 ● *A-Winds*奈良アマチュアウインドオーケストラ

後援 ● 奈良県・大和郡山市・大和郡山市教育委員会・一般社団法人 奈良県吹奏楽連盟



第1部

天国の島

The Island of Heaven

- 作曲：佐藤 博昭／Hiroaki Sato
- 出版：全日本吹奏楽連盟／All Japan Band Association
- 演奏時間：約5分
- 指揮：白井 秀

本作品は、2011年度全日本吹奏楽コンクールの課題曲として採用された吹奏楽曲です。北海道北西部、日本海に浮かぶ天売島(てうりとう)の印象をもとに作曲されており、作曲者が島内の中学校に音楽教師として赴任し、人々や自然と密接に関わりながら生活した経験が、本作の背景となっています。周囲約12kmの小さな島で、子どもたちや住民同士が強い絆で結ばれ、豊かな自然と共生する穏やかな日常が、この作品の音楽的基盤を形づくっています。

透明感のある響きや伸びやかな旋律は、島の静かな風景や雄大な自然を想起させ、曲中に多く登場するソロは、鳥や昆虫、植物といった島に息づく一つひとつの生命を象徴するかのように配置されています。島への深い愛情と若き作曲者の等身大の感性が込められた一曲です。

SEA OF WISDOM ～知恵を持つ海～

- 作曲：清水大輔／Daisuke Shimizu
- 出版：フォスターミュージック／Foster Music
- 演奏時間：約8分
- 指揮：堤 正治郎

この作品は、2007年に和歌山県の岩出第二中学校の委嘱によって書かれました。総譜の楽曲解説によると、「海」を題材にしてほしいとの要望から、実際に和歌山の海を見て、特に印象に残った「白浜海岸」と「三段壁(さんだんべき)」をイメージし、さらに作曲者の思い描く「海」を織り交ぜて書いたそうです。

作曲者が現地で見えた海は、今まで見てきた海の中でも1番の美しさで、そしてその美しさと壮大さは、まるで人間に大きな力(恵)を与えてくれているような気がしてならなかったそうです。

「朝の海」をイメージした静かな情景から始まり、カモメの鳴き声(クラリネットのマウスピースを使って表現)が響くなか、中低音から次第に壮大かつ力強いメインテーマが現れます。優しい母なる海を表すアルトサックスのソロを経て、(三段壁)を描いた荒々しい早部では、海の力強さと美しさの2面性を交互

に表します。その2つは混ざり合う事なく、8分音符の一打で遮断されたのち、メインテーマが再現され、スネアの厳格なリズムに導かれて「海の持つ力(知恵)」を表現し、曲は最高潮に盛り上がり幕を閉じます。

第2部

さくらのうた

Sakura Song

- 作曲：福田 洋介／Yosuke Fukuda
- 出版：全日本吹奏楽連盟／All Japan Band Association
- 演奏時間：約5分
- 指揮：島 卓真

本作品は、2012年度全日本吹奏楽コンクールの課題曲Ⅰに選ばれ、第22回朝日作曲賞を受賞した吹奏楽曲です。桜という日本を象徴するテーマを、親しみやすい旋律とわかりやすいハーモニーで丁寧に描き出しており、終始おだやかなテンポ設定が特徴です。

冒頭はピッコロのソロではじまり、トランペットや木管のソロが楽曲全体に柔らかな歌心をもたらします。作曲者は「桜を愛でながら思いを馳せるその心」を演奏者各々が音楽に込めてほしいと述べており、演奏者の表現の自由が大きく期待される作品です。

また、華やかさだけでなく、桜の儂さや内省的な美しさも音楽に織り込まれており、基礎的なアンサンブル力や音色表現が問われます。

三つのジャポニスム

Les Trois Notes du Japon

- 作曲：真島俊夫／Toshio Mashima
- 出版：atelier M
- 出版：演奏時間：約19分
- 指揮：小山 飛鳥

2001年、東京成ウィンドオーケストラの委人により作曲されました。3つの楽章から構成されています。日本的(ジャポニスム)な旋律をコラージュのように散りばめ日本の風景を描き出した本作品は、今までとは違う日本的テイストを持つ曲として世界中から高い評価を得ています。

- I. 鶴が舞う (La danse des grués)
日本原産の丹頂鶴の求愛ダンスを表現した楽章です。鶴が舞う表現に扇子をたたき合わせる音を使用、また、はばたき、鳴き声等の描写がなされます。
- II. 雪の川 (La rivière ennelgée)
冬の渓谷を静かに流れる川に、雪がしんしんと降り続ける墨絵のような光景を描写しています。
- III. 祭り (La fête du feu)
日本の夏に行われる情熱的な踊りや祭を表現しています。中間部では真夏日の入道雲が広がる景色が描かれ、やがてねぶた踊りのリズムが太鼓により表現されます。



“A-Winds 73” 2026年 夏の演奏会のご案内

2026年6月21日(日) 14:00開演
DMG MORI やまと郡山城ホール 大ホール

“A-Winds 73” 2026年 夏の演奏会のテーマは「映画音楽」です。どこかで耳にしたことのある親しみやすい楽曲を、吹奏楽の音色でお届けします。

スクリーンを彩ってきた数々の名曲を、迫力あるサウンドとともにお楽しみください。

皆様のご来場を、団員一同、心よりお待ちしております。

“A-Winds 73” 2026年 夏の演奏会 実行委員長 西崎 潤人・谷田 和奏

募金のお礼とご報告

A-Windsでは演奏会開催ごとに義援金を募っており、演奏会終了後に「日本赤十字社」及び「奈良県新型コロナウイルス感染症対策基金」等に全額納めております。

A-Winds 71では20,234円を「令和6年能登半島地震災害義援金」の受付口座に納めました。

また、募金を開始したA-Winds 38からA-Winds 71まで、総額383,904円の募金をお預かりし、各受付口座に納めております。

募金にご協力いただいた多くの方々に、団員一同厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。